

くろしおくん着ぐるみ使用にあたっての注意事項

1 着ぐるみ使用時

- ・着用すると視界が狭くなり、動きにくくなることから、安全対策として必ずアテンドスタッフ（補助者）をつけ、障害物・段差や近づく人々がいることをアクター（着用者）に知らせる等、周囲に十分注意してくろしおくんの安全確保を行うこと。
- ・くろしおくんのイメージを損なうような振る舞いはしないこと。
- ・イメージ統一のため、アクター（着用者）は絶対に声を出さないこと。
※『『〇〇』と言っています』とそばにいるスタッフが通訳することは可能。
- ・アクター（着用者）は、着ぐるみのバランスを崩さないよう身長を考慮して着用すること（目安：155cm～165cm程度）。
- ・雨天時は、屋外での使用をしないこと。使用中に降雨又は降雪となった場合は、速やかに使用を中止するか屋内に入ること。
- ・着ぐるみの靴部分を引きずって歩くと、破損の原因となるので、足を上げて歩き、靴底を引きずらないよう注意すること。
- ・頭部の毛が乱れると見た目が悪くなるため、適宜アテンドスタッフが毛並みを整えること。
- ・バルーンタイプの場合は、バッテリー残量（満充電時の稼働の目安：約90分※環境により変動）に注意し、早めの交換を行うこと。なお、バッテリーの充電には約3時間かかるため、稼働時には予備バッテリーを必ず満充電して準備しておくこと。

○くろしおくんの動き

- ・話を聞くとき：手をおなかの前で合わせる。
- ・手をふるとき：顔の横でふる。
- ・歩くとき：両手を軽くふりながら歩く。
- ・何もすることがない時でも、周りにお客さんがいる時は常に見られているという意識を持って手を動かしたり、体を揺らしたりする（ぼーっとしないようにする）。

2 アクター、アテンドスタッフの体調管理

- ・アクター、アテンドスタッフの体調管理を徹底し、発熱がある等体調不良の場合は、着ぐるみを使用しないこと。
- ・会場の気温等を考慮して水分補給を行う等、十分な暑さ対策をとるとともに、熱中症対策を徹底すること。
- ・当日の会場、天候及び着用者の体調等を考慮して適宜休憩をとり、交代する等して無理のない使用とすること（一般的な着用時間は30分程度、夏場は20分程度）。

3 運搬時、着用時

- ・運搬、着脱、収納の際、着ぐるみを汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- ・関係者以外の目に触れる場では着脱しないこと。

- ・着ぐるみは、汗を吸いやすく容易に洗えない素材のため、着用の際は、素肌が直接着ぐるみに触れないように、長袖、長ズボン、軍手等を着用すること。
- ・セパレートタイプは頭が直接触れないよう、必ず頭にタオル又は手ぬぐいを巻くこと。

4 使用後

- ・使用後は、固く絞ったぞうきん等で汚れを拭き落とし、アルコールや消臭スプレーで着ぐるみの内側及び外側をしっかりと除菌・消毒したうえで、風通しの良い所で陰干しし、十分に乾燥させてから返却すること。
- ・靴底の汚れをぞうきん等で拭き取ること。
- ・汚損箇所がないか確認し、使用前の状態にして返却すること。また各部に異常がないか確認し、異常があった場合は直ちに広報広聴課に申し出ること。
- ・取扱説明書に記載の付属品が全て揃っているか確認したうえで返却すること。(付属品を紛失した場合は、借主側に同様のものを購入・返却していただきます。)
- ・バルーンタイプの場合は、原則としてバッテリーを満充電して返却すること。